

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立五福小学校(熊本県)

【取組内容④】 DXによる校務の効率化

Microsoft365を使った校務の共有



職員会議（資料）、スケジュール管理校務分掌担当からの連絡提案等、アンケート集約（フォームや共同編集）などペーパーレスを実践している。

クラウドツールによる共有および校務DX



校務クラウドによる文書管理、文書保存。端末から「いつでも取り出せる」システム。また、タブレットから出退勤ができる。

<ポイント>

校務の徹底したペーパーレス化

保護者等への発信等をペーパーレス化



クラウドを活用した欠席連絡

端末の活用による、校務の効率



校務PCだけでなくタブレット（iPad：LTE）を連携し同期させることで「いつでも、どこでも」を校務を実務できる環境を整え教師の働き方にも寄与している。

保護者に向けてフォームでアンケート

クラウドを活用し、保護者からの欠席連絡や学校からの連絡を行っている。

- 1 学校だより、学級通信、各連絡などを随時行う。紙による連絡はほとんどしない。
- 2 避難訓練などの安否、アンケート集約も安心メールを通して行っている。
- 3 PTAもペーパーレスでPTA資料等も紙は使わず、本校HPに置くことで閲覧できるようにしている。